

府中町ふるさと歴史散策〔第45回〕

古代の山陽道と下岡田遺跡②

しもおかだ

研究に扉をあけることになったのである。

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭

問い合わせ

教育委員会生涯学習課

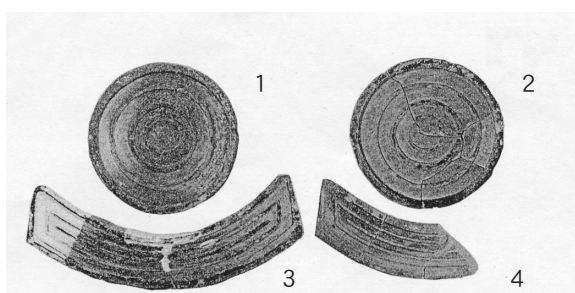
☎286-3272

現在埋め戻されて畑地に、あるいは一部が住宅となつてしまひ、なにも変哲もない風景が展開しているが、数回にわたる発掘調査の結果、建物の遺構と木簡などの多くの出土遺物の研究は、この地に古代から中世にかけて一大建築群があり、それが安芸国の駅館跡（地方官衙跡）であることがわかつた。下岡田遺跡の発見当時には、確実に駅家（うまや）跡とされるものが全国的にも皆無であつたので、この発見は単に府中町の歴史だけでなく、わが国の古代史

その重要性が指摘された。出土した古代瓦の特徴には、瓦当（軒丸瓦の先端の半円または円形の部分）に三重の同心円の模様、重文軒丸瓦と弧線模様の重文軒平瓦で、奈良時代中期の難波宮（大阪府）と平安時代初期の長岡宮（京都府）から出土した瓦の文様と類似している。そこで、昭和38年（1963年）から42年（1967年）にかけての4回、その後を含め計8回の発掘調査がおこなわれている。発掘は一、二次を小倉豊文教授が、三、五次を広島大学文

学部考古学教室の松崎寿和教授が、六、八次を同じく考古学教室の潮見浩教授が担当している。これらの発掘報告書と出土品は府中町歴史民俗資料館（本町二丁目14番1号）にあるので、詳細を知りたい方は、是非一度足を運んでほしい。

図版：下岡田遺跡から発掘された重文軒丸瓦（1、2）と重文軒平瓦（3、4）の写真



図版：下岡田遺跡から発掘された重文軒丸瓦（1、2）と重文軒平瓦（3、4）の写真

人の動き



7月1日現在（前月比）

人口	51,943（-10）
男	25,548（-1）
女	26,395（-9）
世帯	21,463（-9）
面積	10.45km ²

町の花
つばき

町の木
くすのき

お悔やみ

（敬称略）

氏名（年齢）	住所	死亡日
井原 保子（69）	青崎南	6/3
石橋 徳松（92）	本町五丁目	6/6
石田登代子（59）	青崎東	5/31
旭 藤正（70）	宮の町二丁目	6/9
林 恵（93）	大通一丁目	6/4
平賀 哲夫（83）	柳ヶ丘	6/12
松本 雅史（73）	鶴江二丁目	6/15
絹谷 誠（73）	柳ヶ丘	6/18
平本 昌典（71）	石井城二丁目	6/20
梅田さよ子（55）	大須一丁目	6/24

※この「お悔やみ」欄には、「町広報紙掲載申出書」の提出があつた場合のみ掲載しています。

問い合わせ

地域振興課広報公聴担当

☎286-3127

「広報ふちゅう」等のカセットテープ版・点字版のご案内

「広報ふちゅう」「議会だより」「ふれあい府中（社協だより）」のカセットテープ版・点字版を、希望者に無料で貸し出し・提供しています。

あなたのまわりの視覚に障害のある方に是非お知らせください。

申し込み・問い合わせ 府中町社会福祉協議会 ☎285-7278 FAX287-3467

